

製品名: CD4 (7H9) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00731**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	CD4
別名	CD4; T-cell surface glycoprotein CD4; T-cell surface antigen T4/Leu-3; CD antigen CD4
遺伝子 ID	920
SwissProt ID	P01730
免疫原	CD4 の合成ペプチド

背景

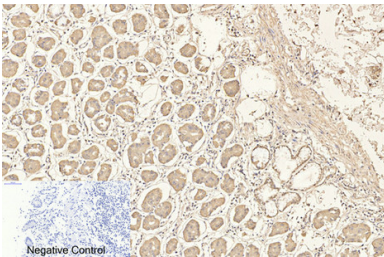
CD4 (Cluster of Differentiation 4) は、アミノ末端細胞外ドメイン (Ig 様構造を持つ4つのドメイン: D1~D4)、膜貫通領域、および短い細胞質末端からなる糖タンパク質です。CD4 は、ヘルパー T 細胞、制御性 T 細胞、単球、マクロファージ、および樹状細胞

の表面に発現し、T細胞の発達と活性化に重要な役割を果たします。T細胞上では、CD4はT細胞受容体（TCR）の共受容体であり、これら2つの異なる構造が抗原主要組織適合抗原複合体（MHC）を認識します。

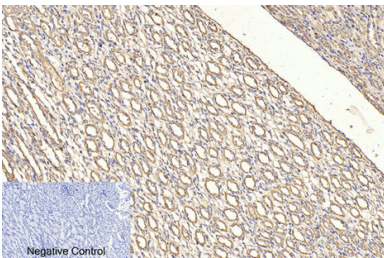
研究分野

免疫学

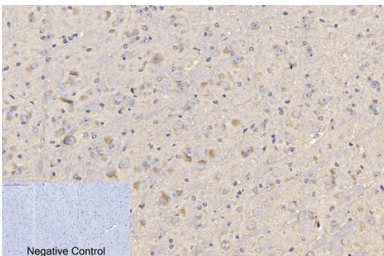
画像データ



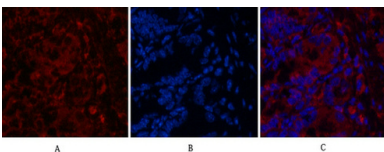
CD4 (7H9) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



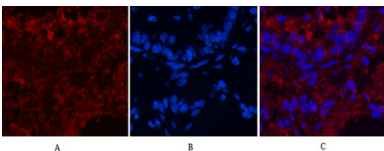
CD4 (7H9) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



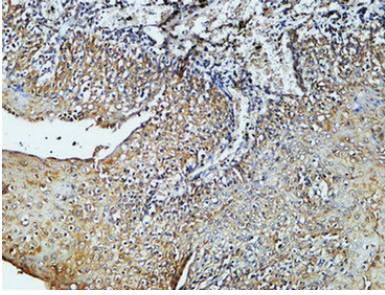
CD4 抗体を用いたパラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



CD4 (7H9) 抗体 (11A1) (赤) および DAPI (青) を使用したマウス結腸組織中の CD4 (7H9) の免疫蛍光分析。



CD4 抗体(11A1)(赤)および DAPI(青)を用いたラット肺の CD4(7H9)の免疫蛍光分析。



CD4 (7H9) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃体の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。